

LIXIL シャレオ・キャストyna伸縮門扉 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択して下さい。

■施工上のご注意

- *商品の施工については必ず取付説明書に従って下さい。
- また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡し下さい。
- *扉走行床面は水平に仕上げして下さい。
- *施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いことを確認して下さい。

■使用上のご注意

- *錠の付いている商品は、通常使用されない場合は必ず施錠して下さい。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろして下さい。
- *開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作して下さい。
- *開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意して下さい。
- また、人・物等の障害物が無い事を確認して下さい。
- *扉の上に物を載せないで下さい。
- *肩を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないで下さい。

■梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数
本体	1

②柱セット

名 称	員 数	
	片開き柱	両開き柱
吊元柱	1	2
戸当り柱	1	—
片開き柱部品セット	1	—
両開き柱部品セット	—	1
取付説明書	1	1
取扱説明書(安全上のご注意)	1	1

③片開き柱・両開き柱部品セット

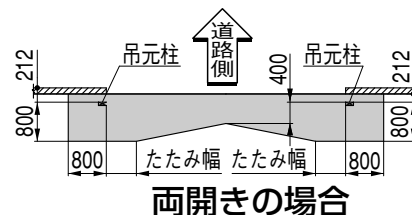
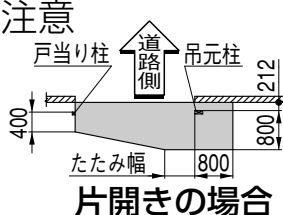
名 称	員 数	
	片開き柱	両開き柱
片錠セット	1	—
両錠セット	—	1
鎌錠・錠受取付ネジ サラ小ネジ M4×12	(4)	(4)
台座取付ネジ サラ小ネジ M5×30	(2)	(4)
把手取付ネジ バインドネジ M5×16	(4)	(8)
本体丁番A	2	4
先端落とし棒受け	2	6
中間落とし棒受け	1	2
アンカーピン φ9×200	2	2
戸当りゴム	2	4
柱・本体取付ネジ トラス小ネジ M6×20	4	8
柱・本体取付バネ座金 バネ座金 M6	4	8
柱・本体取付平座金 平座金 M6	4	8
本体丁番連結ネジ ナベ小ネジ M4×10(平・バネ座金付)	8	16

■型式一覧表

※下記寸法は、2ページ目の「施工寸法図」をご参照下さい。

型 式	A	B	C	B1	D1	B2	D2
	(全 幅)	(直線収納開口幅)	(タタミ幅)	(180°回転収納開口幅)	(180°回転収納寸法)	(90°回転収納開口幅)	(90°回転収納寸法)
片開き	270S	2725	2142	523	2570	433	2325
	310S	3125	2502	563	2970	473	2725
	350S	3525	2862	603	3370	513	3125
	390S	3925	3222	643	3770	553	3525
両開き	530W	5330	4297	523+508	5149	433+418	4656
	610W	6130	5017	563+548	5949	473+458	5456
	690W	6930	5737	603+588	6749	513+498	6256
	770W	7730	6457	643+628	7549	553+538	7056

■施工上のご注意

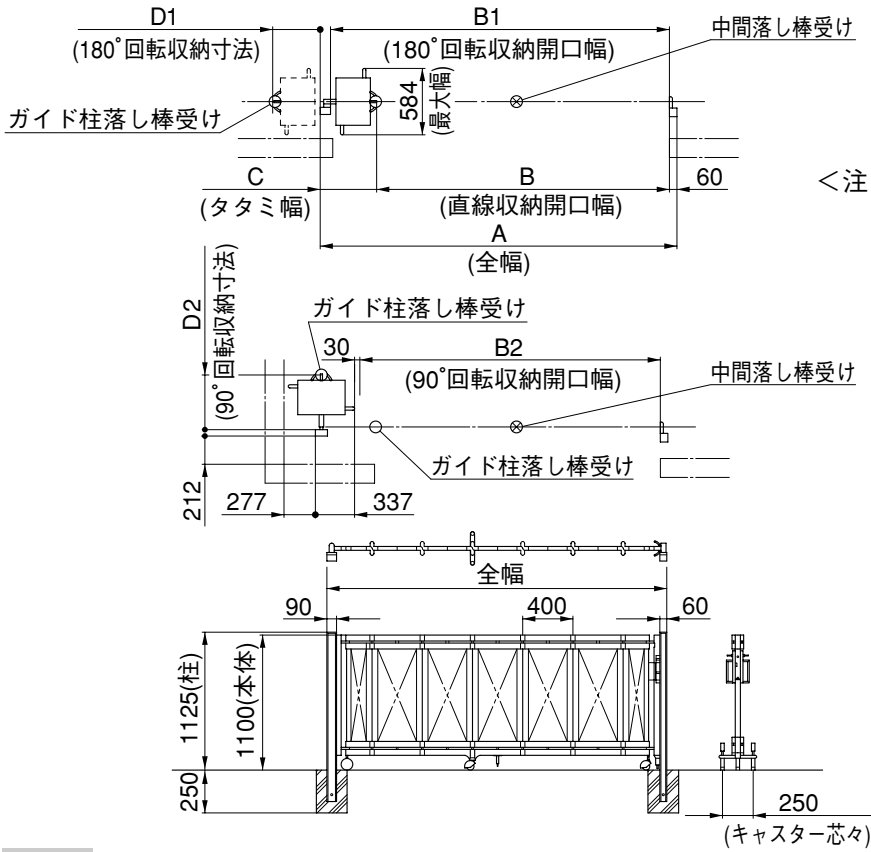


<注意>

- キャスター走行床面ならびに回転収納床面(上図アミかけ部)は水平に仕上げして下さい。
- 床面に勾配がついていますと本体に無理な力がかかり、故障の原因となりますのでご注意下さい。

1. 施工寸法図

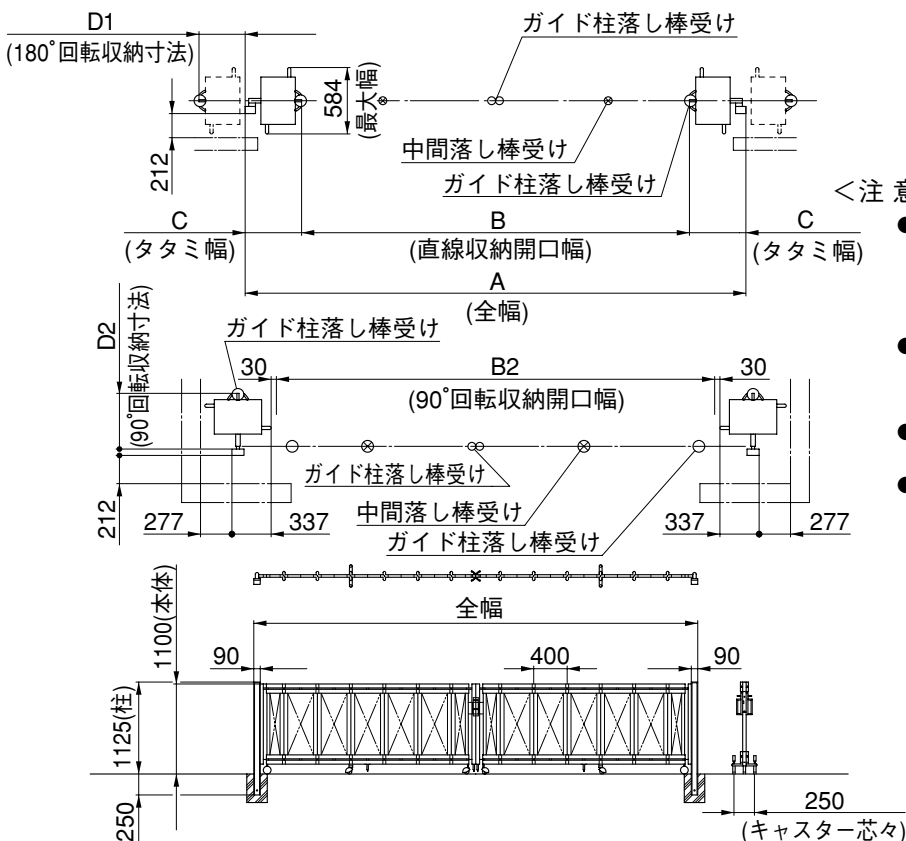
1-1 片開き



<注意>

- 床面の仕上げは本体の走行上、キャスターの走行巾分は、フラットに仕上げてください。
- 開けた時本体を回転させる場合は、回転半径も考慮に入れて仕上げてください。
- 各部の寸法は型式一覧表を参照下さい。
- たたんだ状態と、90°、180°収納をした際に、ガイド柱落とし棒が落とし棒受けの中に確実に入るよう施工後、現物合わせにて位置をきめ、落とし棒受けを埋め込んで下さい。

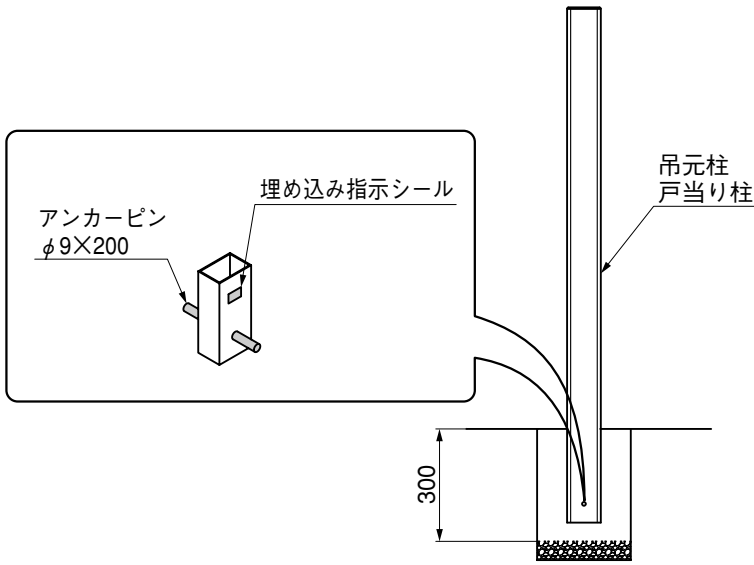
1-2 両開き



<注意>

- 床面の仕上げは本体の走行上、キャスターの走行巾分は、フラットに仕上げてください。
- 開けた時本体を回転させる場合は、回転半径も考慮に入れて仕上げてください。
- 各部の寸法は型式一覧表を参照下さい。
- たたんだ状態と、90°、180°収納をした際に、ガイド柱落とし棒が落とし棒受けの中に確実に入るよう施工後、現物合わせにて位置をきめ、落とし棒受けを埋め込んで下さい。

2.柱の埋め込み



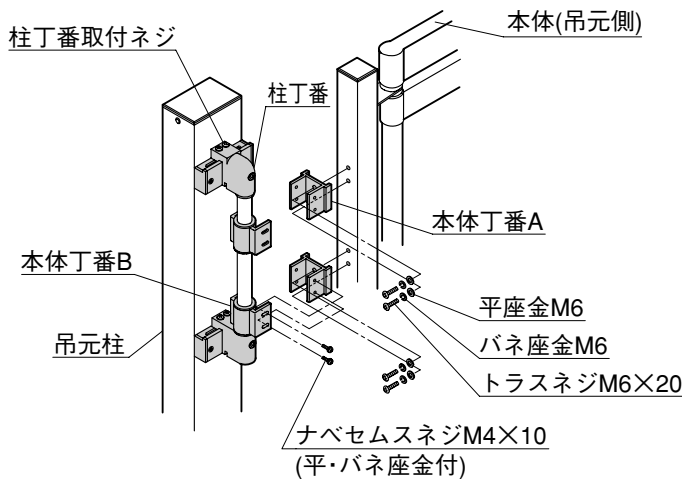
- 吊元柱、戸当り柱にアンカーピンを取付け、基礎コンクリートを300mmにして埋め込み指示シールに合わせ埋め込んでください。

<注意>

- 柱はまっすぐに埋め込んでください。

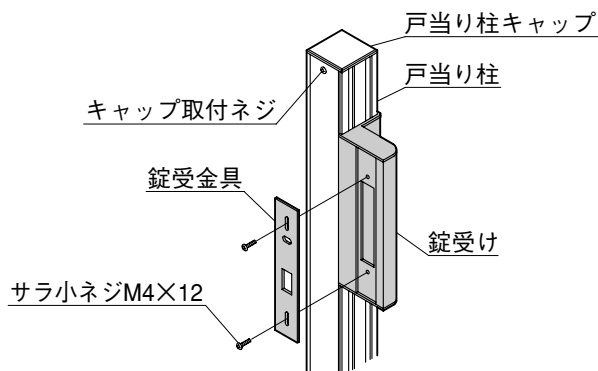
3.取付けおよび調整方法

3-1 本体元柱の取付け



- 左図のように、本体に本体丁番Aを取付けた後、吊元柱にセットされている本体丁番Bと連結させます。その際、本体丁番Bの取付長孔を利用する事により全幅調整が可能です。(±10m/m)
また、吊元柱側でも柱丁番取付ネジをゆるめ、柱丁番をスライドさせる事により±20m/mの調整が可能です。

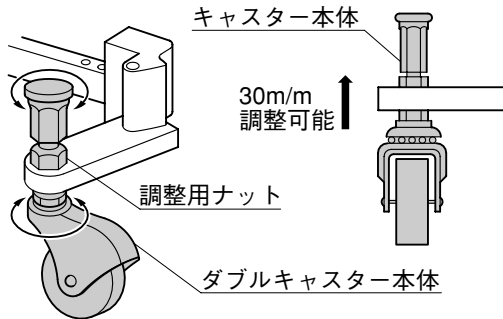
3-2 戸当り柱用錠受金具の取付け



- 上図のように錠受けに錠受金具を取付けます。錠受けはあらかじめ戸当り柱に右引き用としてセットされています。左引き用に変更の場合、キャップ取付ネジ(M4×10)ならびに戸当り柱キャップをはずした後、錠受け取付ネジをゆるめ、スライドさせて一旦戸当り柱から取りはずし、反転させて再度取付けて下さい。また、錠金具の取付けの際は、丸孔が上になるよう取付けて下さい。

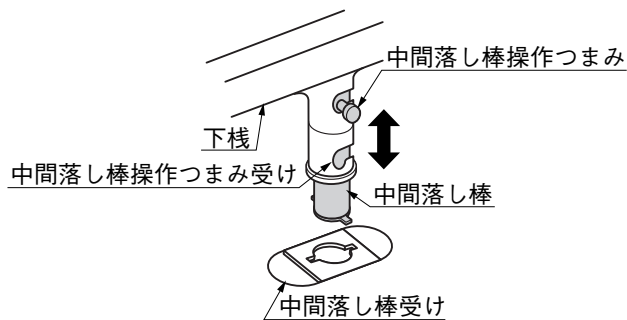
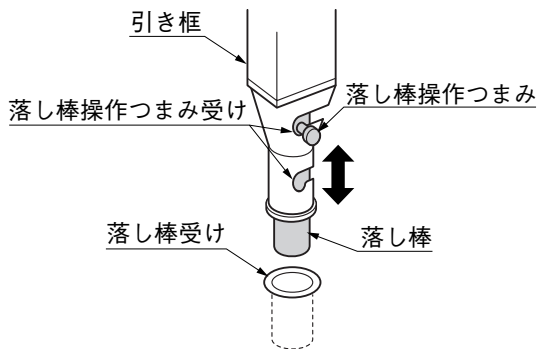
3.つづき

3-3 本体の建付調整



- ① シングルキャスター、ダブルキャスター共、図のように調整ナットをゆるめ、キャスター本体を回す事によって、本体を上方向に30m/m調整が可能です。建付調整に役立ちます。

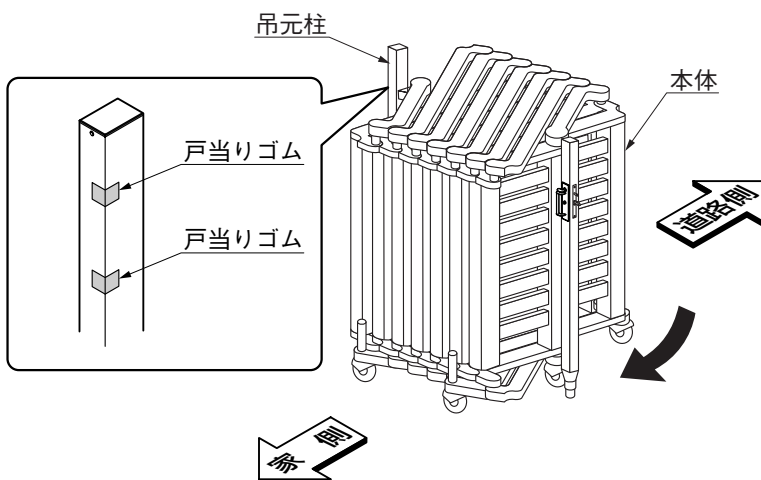
3-4 落とし棒受け



- ① 落とし棒受けは本体施工後、現物に合わせて位置を決め、落とし棒が落とし棒受けの中に確実におさまるように埋込んで下さい。建付調整等で落とし棒の長さが足りなくなった場合は一旦落とし棒つまみを取はずし、落とし棒下方向にスライドさせもう1つのネジ孔に取付けて下さい。

- ② 中間落とし棒には抜け止め機能が付いています。落とし棒受けの埋込方向に注意して下さい。

3-5 戸当りゴムの取付け

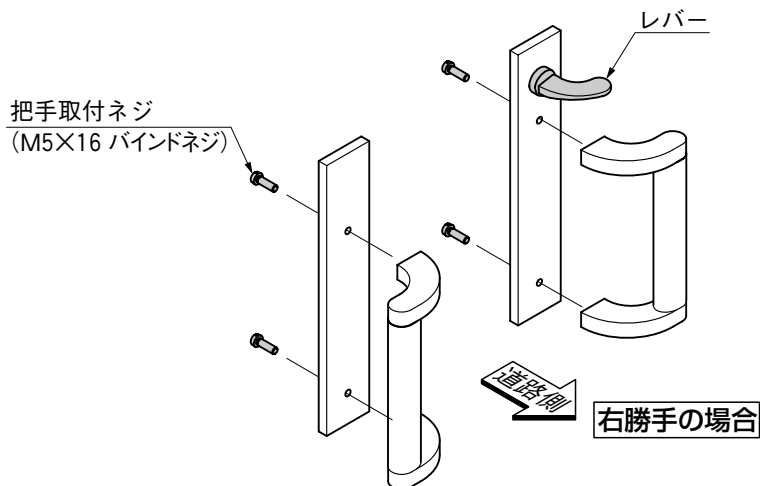


<注意>

- 戸当りゴムは本体回転収納時のキズ防止のため、吊元柱の任意の位置に貼り付けてください。

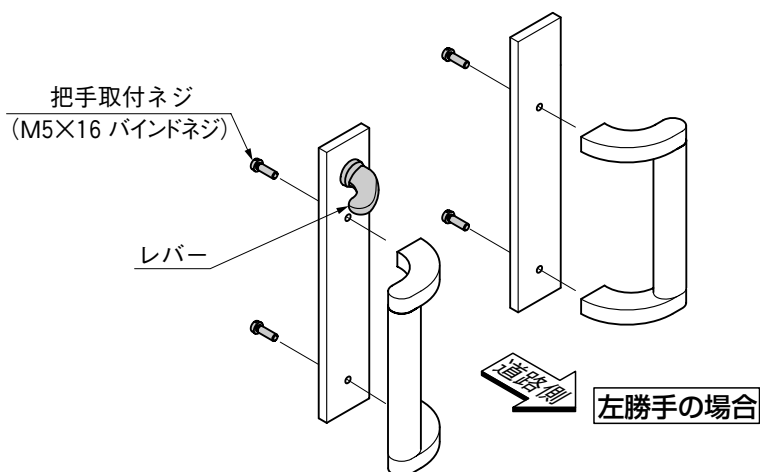
3.取付けおよび調整方法

3-6 錠の組みかえ方法



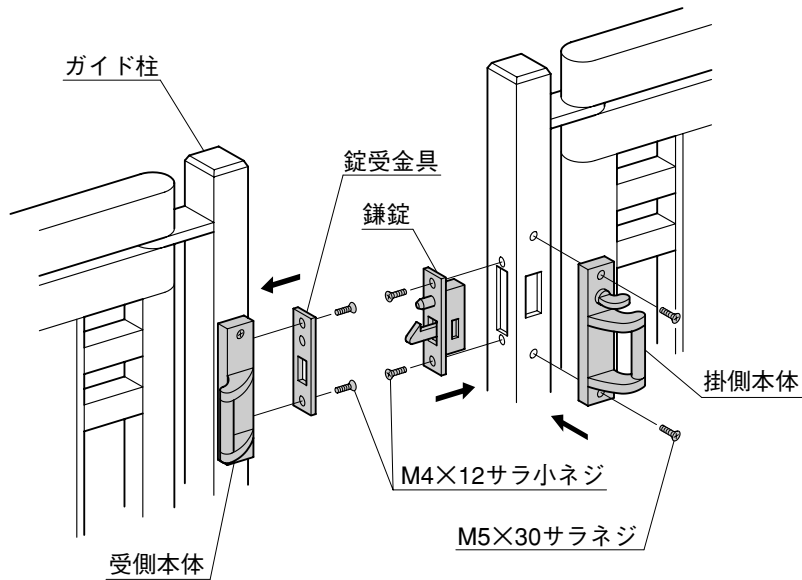
<注意>

- 錠本体は左右兼用です。
- ① 勝手を決めたらレバーの向きを合わせ、取っ手を台座にM5×16バインドネジで固定してください。



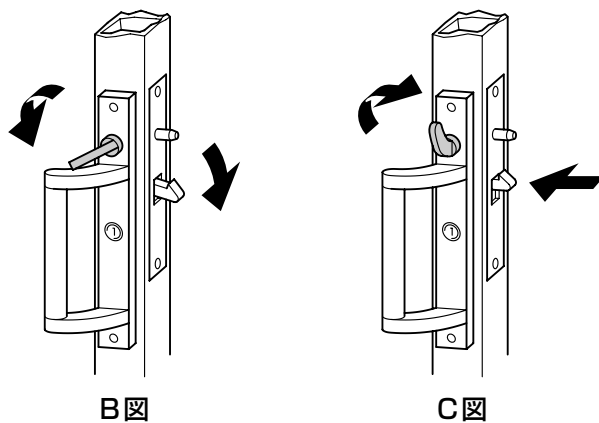
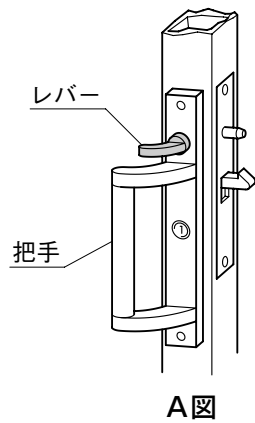
3. つづき

3-7 錠の取付け



- ① 鎌錠タイプのシリンダー錠です。図のように各部明細に指定されたネジにて取付けて下さい。

3-8 錠の操作方法



- ① レバーを下げると鎌錠がはずれます。(B図参照)
- ② レバーを90°上へ回すと鎌錠が引き込まれ、遊びがなくなります。(C図参照)

2-9 キャスター・丸落とし棒の取付位置

型 式	取 付 位 置	備 考
270S		<p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> ∩…中間落とし棒 ○…シングルキャスター ◎…ダブルキャスター ■…ガイド柱落とし棒 <ul style="list-style-type: none"> ● 両開き仕様はこの倍になります。 ● 門扉本体、柱、錠は左右兼用です。「右開き」「左開き」のどちらにも使用できます。
310S		
350S		
390S		

工事店様へ

- 吊元柱・戸当り柱の垂直を出して施工して下さい。
- コンクリートの硬化後に扉本体の組付けを行って下さい。
- 組付け完了後、ボルト・ナット類の締め具合を確認して下さい。
- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に拭き取って下さい。
- 施工終了後、扉の開閉に異常がないかを確認して下さい。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。

●御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

D246

CWA602495E

97-03A

201607H_1049